

冬休みのくらし

めあてをもって生活し、楽しく元気にすごしましょう。



— ぜったいにしてはいけないこと —

- ◆ 人をたたいたり、けったりして、体をきずつけること。
- ◆ 人をいじめたり、仲間はづれをしたり、おどしたりして心をきずつけること。
- ◆ 人のものをとること、かくすこと。
- ◆ 他の人・地域の人に迷惑をかける遊びをすること。

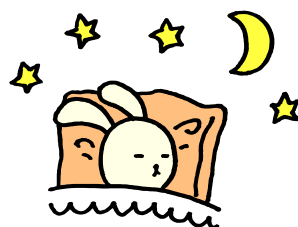
※ゲームソフトやカードゲーム、お金など、ものの貸し借りをしてはいけません。また、あげたりもらったりしてもいけません。

※お店のものや、よそのおうちのものをとることはゆるされません。

— けっしてゆるされることではありません —

けんこうにくらそう 早ね早起き朝ごはん

- ◇ 夜ふかしせず、早ね早起きをして、睡眠時間をたっぷりとり、寒さに負けない元気な体をつくりましょう。
- ◇ 歯・目・耳・鼻など治療の済んでいない人は、冬休みの間に専門医の診断を受けましょう。
- ◇ 食べた後は歯みがきをしましょう。
- ◇ 外から帰ったら、手洗いやうがいをしてしましょう。
- ◇ テレビの見過ぎ、ゲームのやり過ぎは目や体によくありません。時間を決めましょう。



しっかり勉強しよう

- ◇ 友だちと遊びにでかけるのは、午前10時を過ぎてからにしましょう。
- ◇ 学習の計画を立てて、毎日勉強を続けましょう。冬休みにしかできないような勉強もやってみましょう。
- ◇ 進んで読書をしましょう。
- ◇ お手伝いや自分で決めた仕事をすすんでやりましょう。家族の一員として役に立つことも立派な勉強です。



いのちを大切にしよう 事故や事件にまきこまれないように

- ◇ 家の外で、一人だけで行動するのはできるだけやめましょう。
- ◇ 冬場は、早く暗くなります。暗くなる前、午後4時を目安に家に帰りましょう。
- ◇ 出かけるときは、「どこに・何をしに・だれと行くのか」「何時ごろ帰るのか」を必ず保護者（または責任のある大人のひと）に伝えましょう。
- ◇ ショッピングモール・デパート・映画館・カラオケ・ゲームセンターには子どもだけで行ってはいけません。コンビニなどのお店に行くときも、家の人に言いましょう。また、保護者のゆるしを得ずに校区外へ出かけてはいけません。
- ◇ 交通ルールを守りましょう。
- ◇ 自転車は正しくのりましょう。自転車免許を持っている4・5・6年生は、下級生のお手本になる乗り方をしましょう。
- ◇ 毎年、たくさんの人が水辺でいのちを失っています。川や池での遊び、魚つりに、子どもだけで行ってはいけません。また、山や林、しげみなど人目に付きにくいところには行きません。

その他のやくそく

- ◇ 学校へは自転車に乗ってきてはいけません。
- ◇ 家族や近所の人、先生、友だちに、自分から元気よくあいさつをしましょう。
- ◇ 携帯電話やスマートフォンは、家の人と相談して使いましょう。家の人のものでも、勝手に使ってはいけません。また、インターネットを利用する時も、家の人とよく相談しましょう。勝手に投稿や書き込み、アップロードをしてはいけません。
- ◇ 知らない人に声をかけられたり、連れて行かれそうになったりしたら、大声でさけんだり、近くの人や家に助けを求めたり、「こども110番のいえ」に逃げこんだりしましょう。不審者に出会ってこわい思いをしたときには、家族に話し、まず警察に連絡してもらいましょう。そのあと、学校にも知らせてください。
- ◇ 部活動やPTA・地域の行事、ゆうゆうクラブなどで学校へ来たときも「嵯峨小のきまり」をしっかり守りましょう。（普段の学校生活で守っていることを同じように守りましょう。）

